

第10回定時株主総会 株主さまからのご質問等に対するご回答

本株主総会においては、多数の株主さまより、インターネットによる議決権行使サイト及び当日のライブ配信のコメント機能を利用したご質問・ご意見等をお寄せいただきました。

本資料では、その中でも寄せられた件数が多く、一般的にご関心が高いと思われる内容についてご紹介いたします。

株価及び株主還元に関する事項

- (ご質問等) ・株主優待は今後も継続されますか。
・株主優待の拡充を希望します。
・株主優待を廃止して配当に集約してほしい。

(ご回答) 当社としましては、大変ご好評をいただいている制度であり、また株主さまとの関係強化につながっていると認識しており、今後も継続していきたいと考えております。

なお、今年からは、「継続保有株主優遇制度」の内容を拡充いたします。

当社事業地の地元の事業者さまからご出品いただく商品や、当社施設の利用券など、豊富な商品の中から、ご自由に商品を選んでいただける仕組みとしております。

地域への還元を行いながら、株主さまにも喜んでいただける形、当社が掲げる「あらゆるステークホルダーの満足度の総和が企業価値になる」という理念を体現した制度を目指しておりますので、ぜひご利用いただければと存じます。

(ご参照 制度の詳細は、当社ホームページ [継続保有株主優遇制度](#)にてご確認いただけます)

- (ご質問) ・株価向上の取り組みを教えてください。
・自社株買いの予定はありますか。

(ご回答) 「中期経営計画 2025」の初年度であった2022年度は、アフターコロナの再成長に向けた稼ぐ力と効率性の向上を図る方針のもと、事業ポートフォリオの再構築に取り組み、その目処をつけることができました。

今後は、DX等を活用し、お客さま目線での全体最適を意識しながら各事業が有するデータやノウハウを結び付け、事業効率とお客さまの体験価値をともに高めていく「グループ内バリューチェーンの再構築」により、さらなる収益増加・事業機会拡大を図ってまいります。また、大型再開発や再生可能エネルギー事業等への成長投資、また、DX等を活用した業務効率化を進めることで、資本効率を高めるとともに、環境経営や人的資本経営等、中長期にわたる持続的成長に向けたESGの取り組みの強化・推進により、マーケットから適切にご評価いただけるよう、努めてまいります。

役員に関する事項

(ご質問) 取締役会における女性比率が低いのではないかと、また、今後の女性登用の方針を教えてください。

(ご回答) 現在、取締役会の構成は、13名中2名が女性(社外)となります。
取締役会の構成は、長期経営方針及び中期経営計画の推進に必要なスキルを備えた体制が望ましいと考えており、多様性にも留意しながら、全体のバランスに配慮した構成としております。
現状、社内出身の女性役員は選任されておりませんが、事業会社において、執行役員、部長職、また、その候補となる女性が活躍しております。今後は彼女たちの成長を支援しながら、適切な体制を検討してまいります。

リゾートホテルの開発に関する事項

(ご質問) 東急不動産㈱が展開する、会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ」の今後の開発計画を教えてください。

(ご回答) 2023年6月末時点において、全国26箇所の施設を運営しております。
2023年7月6日に「飛騨高山」(岐阜県高山市)を開業するほか、10月には「軽井沢&VIALA」隣接地にて「VIALA 軽井沢 Retreat」を開業予定でおります。今後もニーズの高いエリアにて新規展開を検討してまいります。

(ご参照 東急ハーヴェストクラブの詳細は、[東急ハーヴェストクラブ](#)にてご確認いただけます。)

以上